

取り付けと接続

(おもてから続きます)

2

車を安全で平坦な場所に停める。
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

3

バッテリーのマイナス端子を外す。

Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4

灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。

5

車から取り付けブラケットごとカーナビゲーション / モニター製品を外す。

6

カーナビゲーション / モニター製品に付いているケーブルを外す。

Memo

- 取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

2. カメラを取り付ける

〈リアガーニッシュにカメラを取り付ける場合〉

1 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決めてください。

リアガーニッシュへの取り付け例

⚠ 注意

- カメラはナンバープレートにかからないように取り付けてください。
- カメラはなるべくガーニッシュの中心にくるように取り付けてください。
- 左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらないことを確認してください。

2

カメラとカメラブラケットを組み立てる。

カメラの取り付け

1

カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具とおす。
・ロゴの印刷面がカメラの上面になります。

2

付属のカメラ取り付け用タッピングネジを使いカメラを取り付け金具に固定する。

3

カメラブラケットを車体に取り付ける。

ケーブル下穴開け

カメラ取り付け台推奨下穴位置（2.5 φ）

カメラケーブル推奨穴位置（13 φ）

1

カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。

2

カメラの角度を調整する。
はじめに、カメラを車両進行方向に対して真後ろを向くように調整する。
その後、カメラを地面に対して約 30 度下を向くように調整する。

3

カメラ取り付け部に、ケーブル配線用の下穴（φ 13）をドリルで開ける。
また、必要に応じて、カメラ取り付け固定用ネジの下穴（φ 2.5）も開ける。
・金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面及び周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り、十分に乾燥させてください。

4

取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス（別売）で拭き取る。

5

カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中に送る。

6

カメラケーブルを通した穴は、防水テープ（市販品）やシーリング剤（市販品）で、しっかり防水を行ってください。

7

カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。
必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。

4

カメラケーブルを配線する。

ハーネスカバー

ここから外す

リアカメラ

バックドア

電源ユニット

AVヘッドユニットへ

1

カメラケーブルを配線する。

2

雨が入らないように防水パッドやクランプで配線する。

Memo

- ケーブルの配線の際は、突起部や金属の縁などにあたらないように取り回してください。

3. 電源ユニットを取り付ける

1 はじめに

- 電源ユニット取り付け位置の確認
電源ユニットのリバース / ACC コード（赤）は必ず車両後退時に電源が供給されるバックランプ電源線に接続してください。
電源部のリバース線、アース線が無理なく接続できる範囲でトランク内、車室内に電源部を安定して固定できる平らな面、設置スペースがあることを確認してください。（インパネ裏、シート下等）

2

電源ユニットを付属の両面テープで取り付ける。

Memo

- 取り付け面をクリーニングクロス（市販品）でほこり・油類を事前に拭き取ってから作業を行ってください。

4. 接続する …… 接続するごとに  に✓点をつけてください。

1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかりと差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 接続する。
本機のリバース / ACC コードは、車両側のバックランプ信号線のプラス側または ACC ポジションで電源が供給されるコードに接続する。

⚠ 注意

正しい接続をする。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

● 基本接続図

POWER端子

CAMERA端子

電源ユニット

カメラ延長コード（付属）

カメラ本体

コード色

仕様

接続先

赤

OK

・リバース/ACCコード
本機に電源を供給するための線です。
カメラの使用方法により接続方法が変わります。

・リアカメラとして使用する場合:
車両のバックランプ信号線のプラス側に接続します。
・常時表示用カメラとして使用する場合:
車両のACC電源コードに接続します。

黒

OK

・アースコード
車体の金属部分へしっかりと固定します。

車のボディの金属部分に確実に接続してください。不十分だと誤動作の原因になります。

カメラ用ビデオ入力端子へ (CAMERA IN)

OK

アルパインナビゲーション
または
AVヘッドユニット

Memo

- アルパイン製VIE-X08BVS/X08VSシリーズまたはHCE-C200F/HCE-C212FD と接続する場合は、リバース/ACC コードをACC ポジションで電源が供給されるラインに接続してください。
- 詳しくはご購入上げ店または自動車販売店にご相談ください。

5. 確認する

1 コード類を固定する。
カメラケーブルの配線、固定
付属のバンドクランプでケーブルを止めながら配線を行なう。
カメラコードを車室内に引き込む際は
・ トランク / バックドア、ヒンジ等に咬み込まないように引き回す。
・ ヒンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
※ 配線終了後はトランク / バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。
ビデオ接続コードの固定
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部にあたったりしてコードを傷めないように注意して配線し固定する。

2 モニターやナビゲーション等、カメラ取り付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

3 イグニッションキーを ON にして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4

カメラの角度を調整する。

カメラの取り付け

角度調整ネジ(両側)

1

車を水平な場所へ停車する。

2

カメラ取り付け台の角度調整ネジを緩め、カメラの角度を調整する。

3

イグニッションキーを ON にして、シフトレバーをリバースに入れる。ディスプレイ上の映像を見てカメラの角度を確認する。

4

取り付け台のはがれに注意して、付属の六角レンチで、角度調整ネジをしっかりと締め付ける。

注意

- カメラの角度を調整するときは、必ずイグニッションキーを OFF にし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動くと事故の原因となります。

5

ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

Memo

- 本製品は車のバック信号ラインとの接続を行います。バックランプが正しく点灯するか確認してください。

その他

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いで故障と間違えていませんか。

→

接続・配線は正しく行われていますか。

→

下の表をもう一度ご確認ください。

→

それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもついてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな？（症状）	お答えします。（原因）
カメラの映像が出ない。（カメラ以外の映像は正常）	
イグニッションキーが ON 以外の位置になっている。	⇒ イグニッションキーを ON の位置にしてください。
ヒューズが入っていないか断線している。	⇒ ヒューズを入れるか、原因を確かめてからヒューズを交換する。
正しく接続されていない。	⇒ 本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
ディスプレイのリバース線が接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してリバース線を接続してください。
ディスプレイのカメラ入力にビデオ接続コードが接続されていない。	⇒ ディスプレイの取扱説明書を参照してカメラ入力にビデオ接続コードを接続する。
カメラの映像が正常でない。（カメラ以外の映像は正常）	
ディスプレイの画面がちらつく。	⇒ 蛍光灯などで照らされた場所を映したとき、ディスプレイの画面がちらつくことがあります。故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	⇒ 暗いところを映したとき 部分的に明るい光を映したとき カメラ本体付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	⇒ 取り付け台がはがれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	⇒ カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線（光の縦線）が出る。	⇒ 太陽光を直接映したり、強い光（ボディからの反射やヘッドライト等）が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります（スミア現象）。→故障ではありません。
他	
ラジオにノイズが入る。	⇒ シフトレバーがリバース時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ線より離してください。

バックカメラパーフェクトフィットシリーズ

車種専用の取付キット（別売）を使用する事でバックカメラをスマートに取り付けできます。
(2012年5月現在)

取付キット	車 種*	年 式
KTX-C10G	ミニバン専用	
KTX-C11AL	アルファード	(H17/4～H20/5)
KTX-C12AV	アルファード / ヴェルファイア	(H20/5～現在)
KTX-C30PR	プリウス	(H21/5～現在)
KTX-C14IN	インサイト	(H21/2～現在)
KTX-C15G	ミニバン専用	
KTX-C16RP	ルークス	(H21/12～現在)
	バレット	(H20/1～現在)
KTX-C17SG	リアナンパープレートサイド用	
KTX-C18MG	リアナンパープレートセンター用	
KTX-C19JU	ジューク	(H22/6～現在)
KTX-C20NV	ノア / ヴォクシー	(H19/6～現在)
KTX-C21ES	エスティマ（マイナーチェンジ後）	(H20/12～現在)
KTX-C23EL	エルグランド	(H22/8～現在)
KTX-C24CR	CR-Z	(H22/2～現在)
KTX-C26SE	セレナ	(H22/11～現在)
KTX-C40PRA	プリウスα	(H23/5～現在)
KTX-C34FR	フリード / フリードスパイク	(H20/5～現在)
KTX-C56ST	ステップワゴン / ステップワゴンスパーダ	(H21/10～現在)
KTX-C10AQ	アクア	(H23/12～現在)
KTX-C12NB	N BOX / N BOX カスタム	(H23/12～現在)

*詳しい適応車種、取付条件については各モデルのパッケージにてご確認ください。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL：0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。（一部回線でつながない場合があります。）
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様へ＞
TEL：048-662-6636

● 電話受付時間 月曜～金曜日 9：30～17：30 土曜日 9：30～12：00 / 13：00～17：00
(土日、祝日、弊社休業日を除く)

● 電話は混雑が予想されます。FAX でのお問い合わせをおすすめします。
FAX：048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>
FAQ（よくあるご質問） <http://faq.alpine.co.jp>
アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

市内通話料でOK

ナビダイヤル®